

随筆集 『途上の旅』 若菜晃子

第5回斎藤茂太賞受賞『旅の断片』
につづく、旅の随筆集待望の第2集。

ひとりの人間が見られるもの、
行ける場所は地上のごく
わずかな一部しかない。
だからこそ私はその地に
自分の足で立ち、
見て聞いて感じて考えて
生きていたい。

ー「はじめに」より



定価 1,760円（本体1,600円＋税）

アノニマ・スタジオ

随筆集 『途上の旅』 若菜晃子

第5回斎藤茂太賞受賞『旅の断片』
につづく、旅の随筆集待望の第2集。

人間は常に自然の

ただなかにいる。

そしてそのことをいつも

忘れてしまう。

私はそれを全身で

感じるために、

旅に出ているのかもしれない。

― 「机上より」



定価 1,760 円 (本体 1,600 円 + 税)

アノニマ・スタジオ